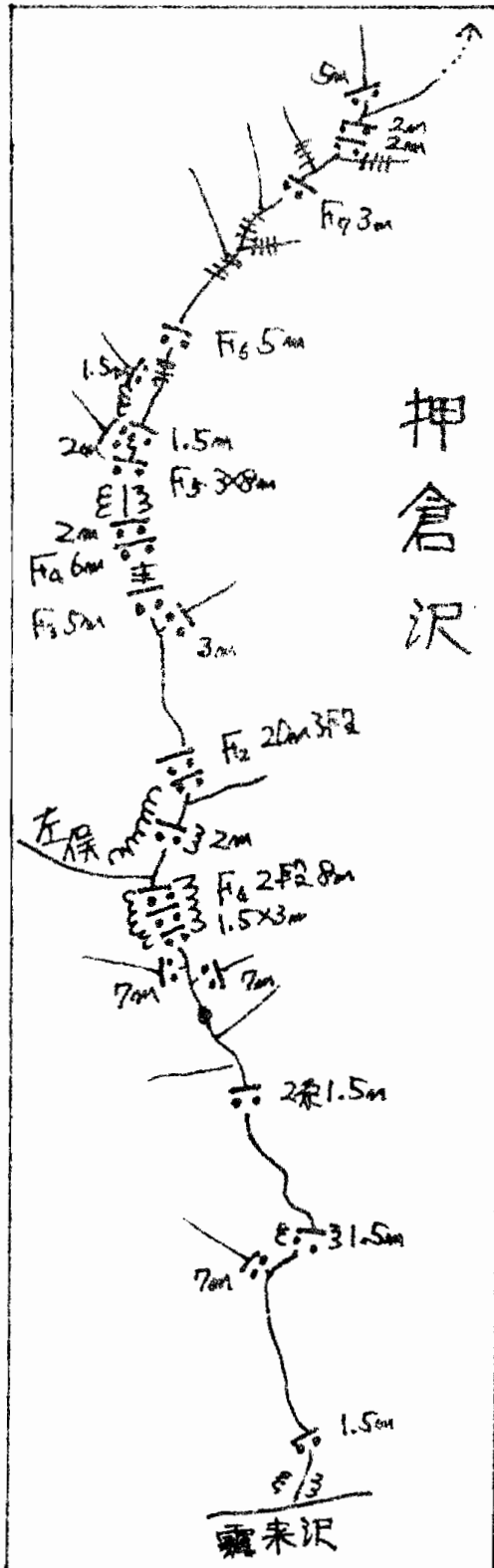


まで続く。アブがうるさくつきまとうので、一気にかけ下る。(記・宍戸宰務)
 [タイム] 下降点(11:55)→左俣本流(13:00)→右俣出合(15:10)→霧来沢出合(16:05)



押倉沢

押倉沢右俣

1986年8月23日

L 宍戸宰務・佐藤春男

霧来沢との出合はせまく小さなナメがあり、期待のもてる沢だ。F₁までの間に1~2mの小滝が4つほどある。F₁を過ぎた所が二俣。右俣に入る。

右俣に入ると、すぐF₂へ着く。F₂は下から1m, 10m, 8mの3段の滝となっている。中段の滝を右より捲きぎみに登り、上段は左に移って直登する。このあと沢は滝とナメが続く。F₆では、左側に取り付くが、登れなくて、右側を一部チムニー登りして越える。F₃からF₆の間は、この沢でもっとも楽しいところだ。

F₇を越えると、水量が減ってくる。ヤブこぎ20分で、吉三山から三条方面にのびる尾根に出る。

(記・佐藤春男)

[タイム] 押倉沢出合(7:40)→二俣(8:40)→遡行終了(10:40)→尾根(11:00)

6. 摺上川流域の沢

中津川左俣

1986年8月3日

L 和泉 功・大西真一

朝、和泉さん宅によってから出発。中津川